

---

今から始めるEDIシステム  
『2025年の崖』攻略！

脱ブラックボックスシステム  
事例紹介セミナー

2021年7月9日

ユーザックシステム株式会社

---

---

# 第1部

## 脱ブラックボックスが 「崖」攻略のカギ！

～EDI受注業務の課題とあるべき姿～

ユーザックシステム株式会社  
執行役員 研究開発本部長  
EDIエバンジェリスト  
大槻 勝弥

---

# 自己紹介

---

EOS **名人**.NET



大槻 勝弥

長野県出身

1988年入社

アパレル業を中心に流通業の基幹システムの営業やユーザックシステムのソフトウェア製品の営業に従事。

2019年に東京営業本部長兼EDI戦略委員会責任者。

現在は新設された製品の研究開発を取り仕切る研究開発部門のトップ。

趣味は、6年前に始めたゴルフ。

# 本日のアジェンダ

---

2025年までにシステム刷新、その必要性

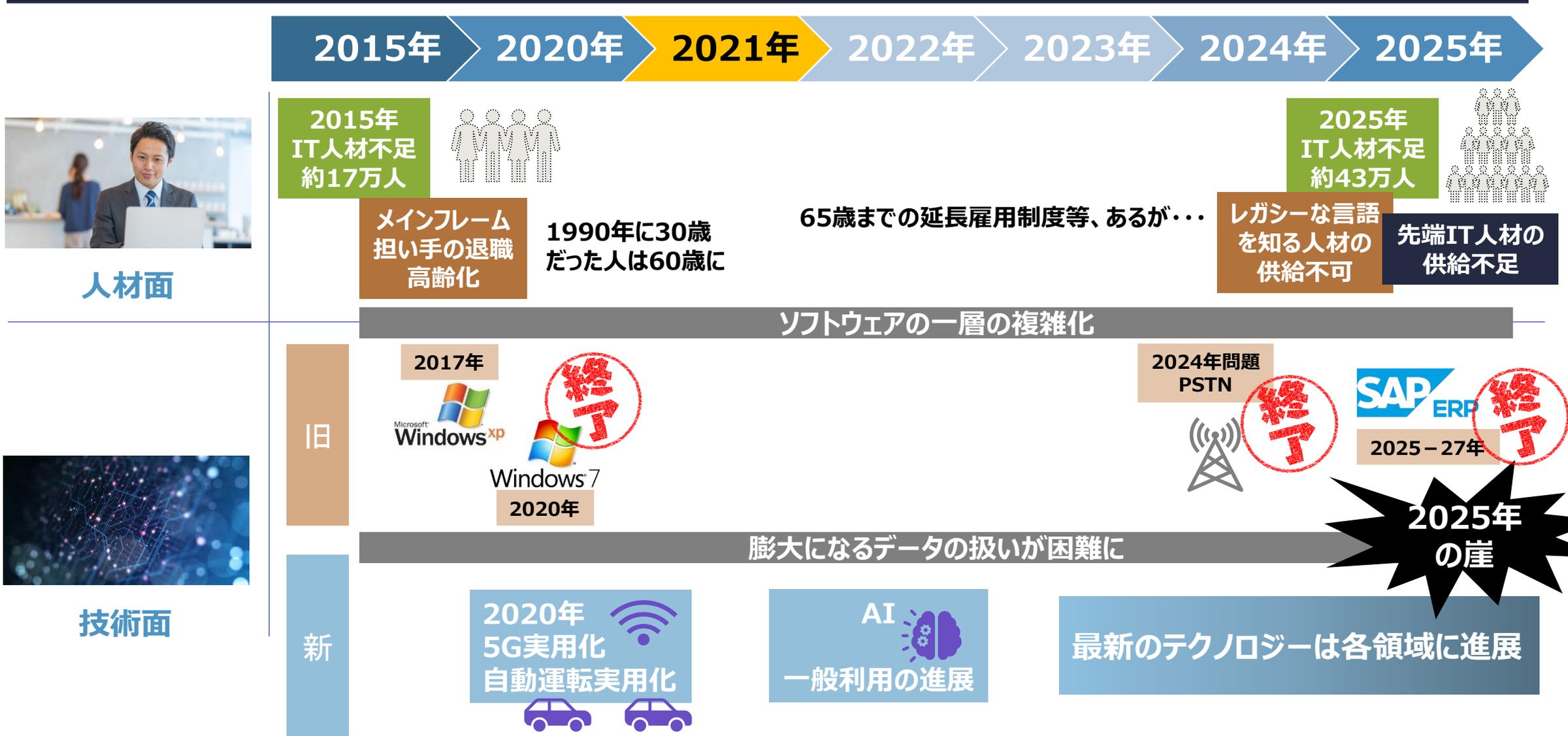
流通業EDIのあゆみ

卸・メーカーの現状と課題

EDI再構築のポイント 9

まとめ

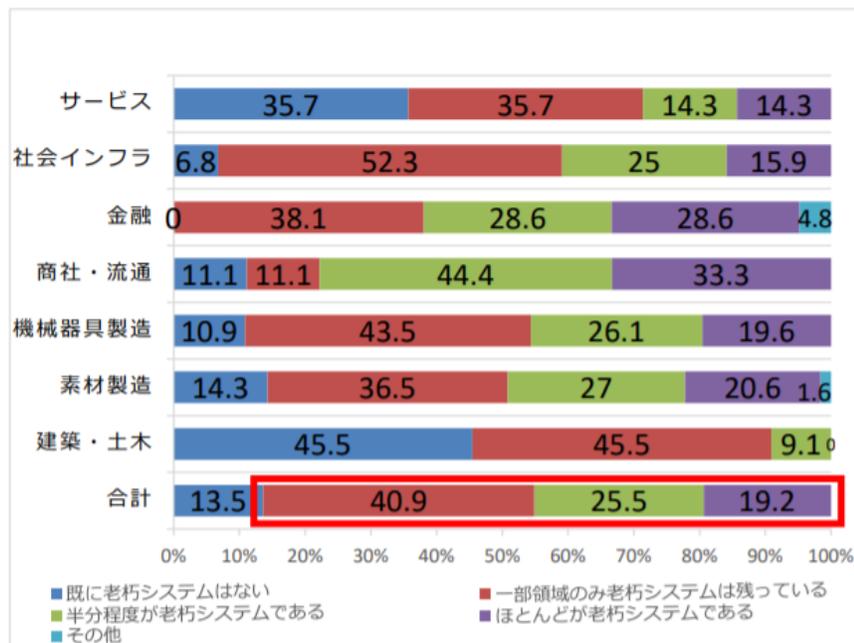
# 2025年までにシステム刷新を**集中的に推進**する必要性



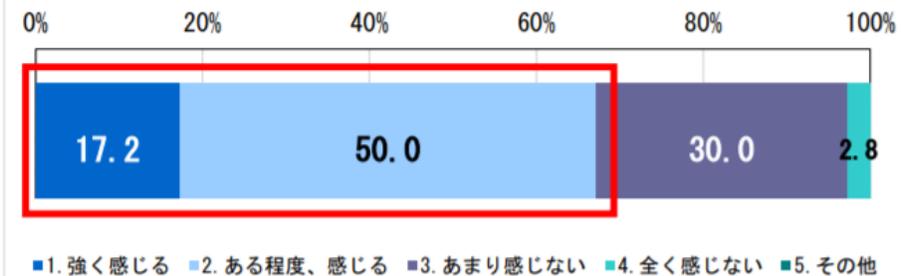
# 経済産業省資料

- ◆ ITシステムが、技術面の老朽化、システムの肥大化・複雑化、ブラックボックス化等の問題があり、その結果として経営・事業戦略上の足かせ、高コスト構造の原因となっている「レガシーシステム」となり、DXの足かせになっている状態（戦略的なIT投資に資金・人材を振り向けられていない）が多数みられる。
- ◆ DXを進める上で、データを最大限活用すべく新たなデジタル技術を適用していくためには、既存のシステムをそれに適合するように見直していくことが不可欠である。

約 8 割の企業が老朽システムを抱えている

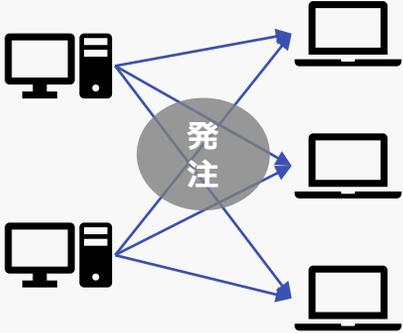
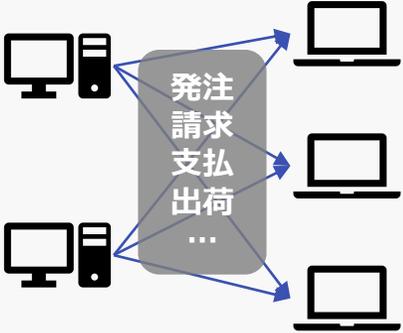


約 7 割の企業が、老朽システムが、DXの足かせになっていると感じている

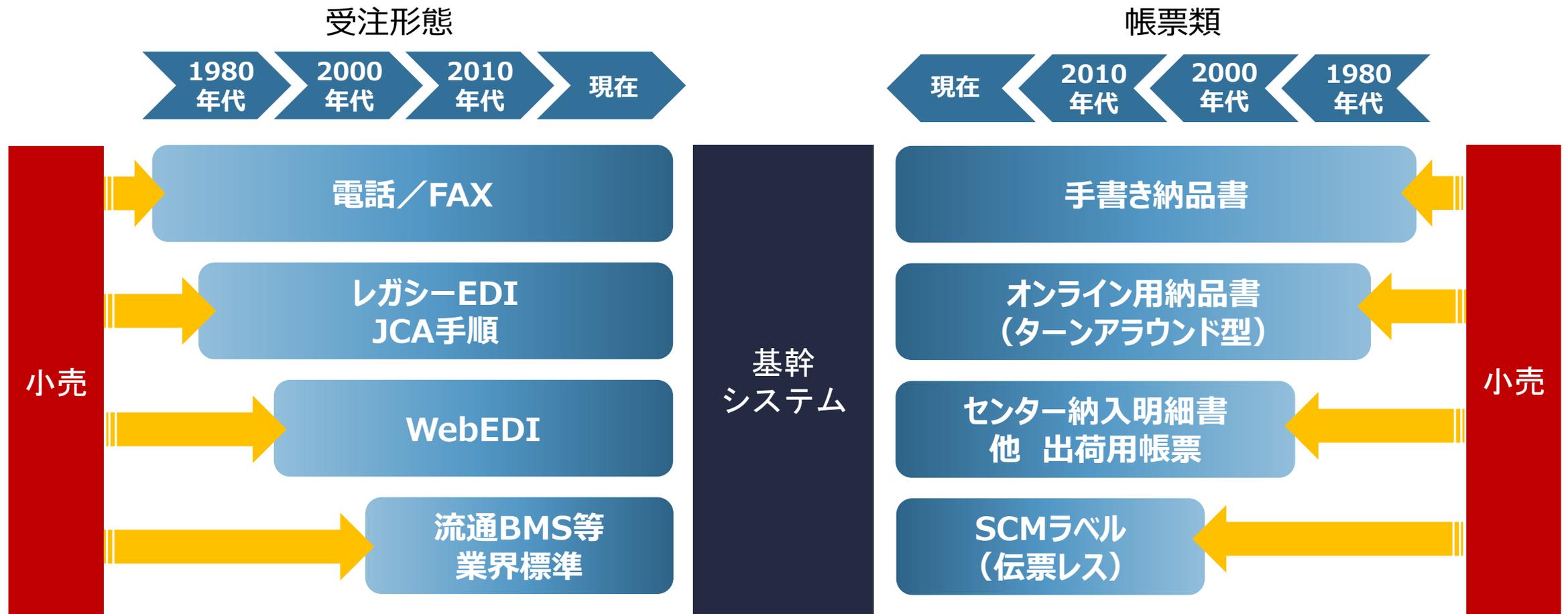


(出典) 日本情報システム・ユーザー協会「デジタル化の進展に対する意識調査」(平成29年)から作成

# 流通業EDIのあゆみ

JCA手順の制定 1980年	EOSの急拡大 80年代	メッセージが追加され、EDIへ 90年代	WebEDIの乱立 2000年頃～	流通BMSの制定と普及 2007年
<p>通信手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データフォーマット</li> <li>統一伝票</li> </ul>	<p>1985年 VAN自由化</p> <p>「小売」 「卸・メーカー」</p> 	<p>「小売」 「卸・メーカー」</p> 	<p>WebEDI = コストが安い ため、中小小売が導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Webサイト上に発注データ</li> <li>毎日ダウンロードが必要に</li> <li>コンビニ/ホテル/専門店/外食等</li> </ul>	<p>通信手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務プロセス</li> <li>メッセージ種別</li> <li>ファイルレイアウト</li> <li>伝票レス</li> </ul> <p><b>中小小売には負担大</b></p>

# 卸・メーカーの現状と課題 ①新旧システムの混在

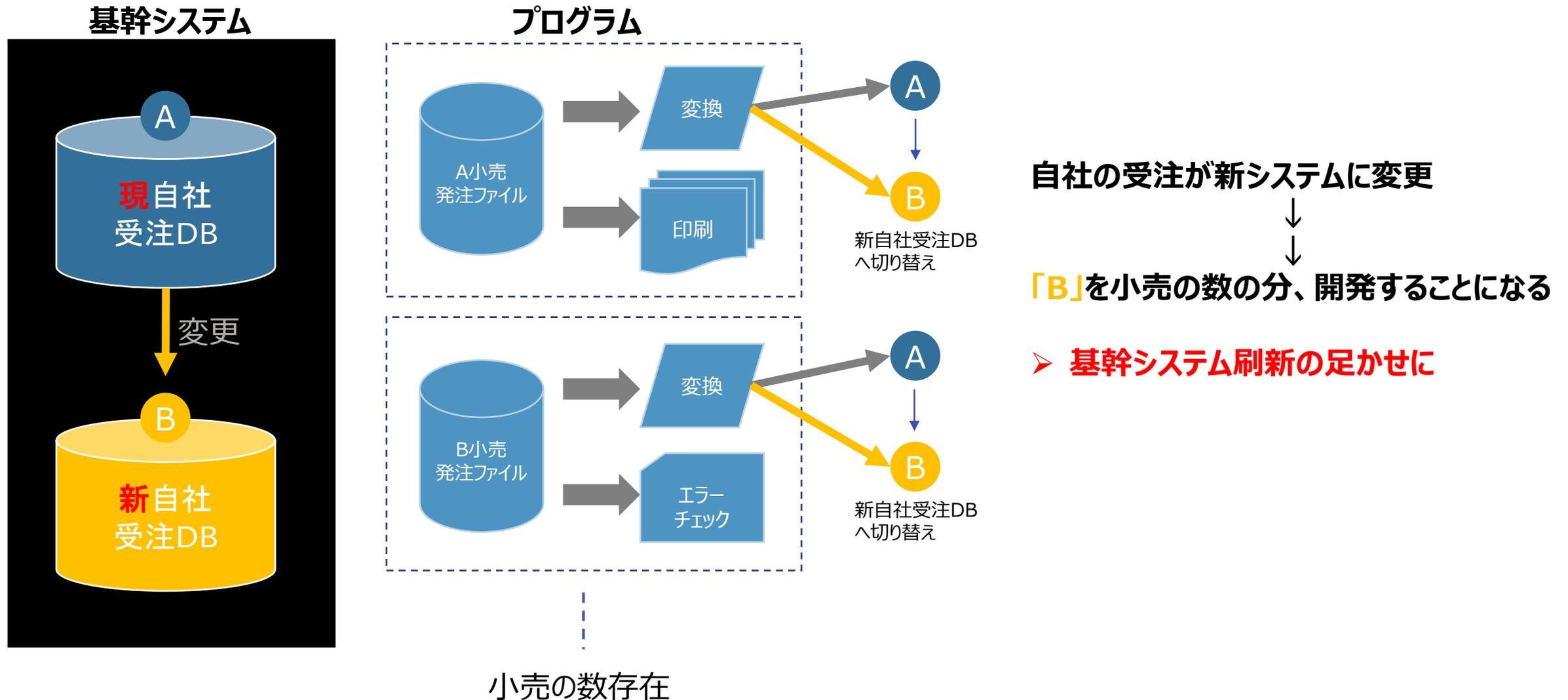


# 卸・メーカーの現状と課題 ②複雑に積みあがったプログラム



ミッションクリティカルな業務なのに、切り替えに課題

# 卸・メーカーの現状と課題 ②複雑に積みあがったプログラム



# 卸・メーカーの現状と課題 ③環境の限界と属人性の表面化

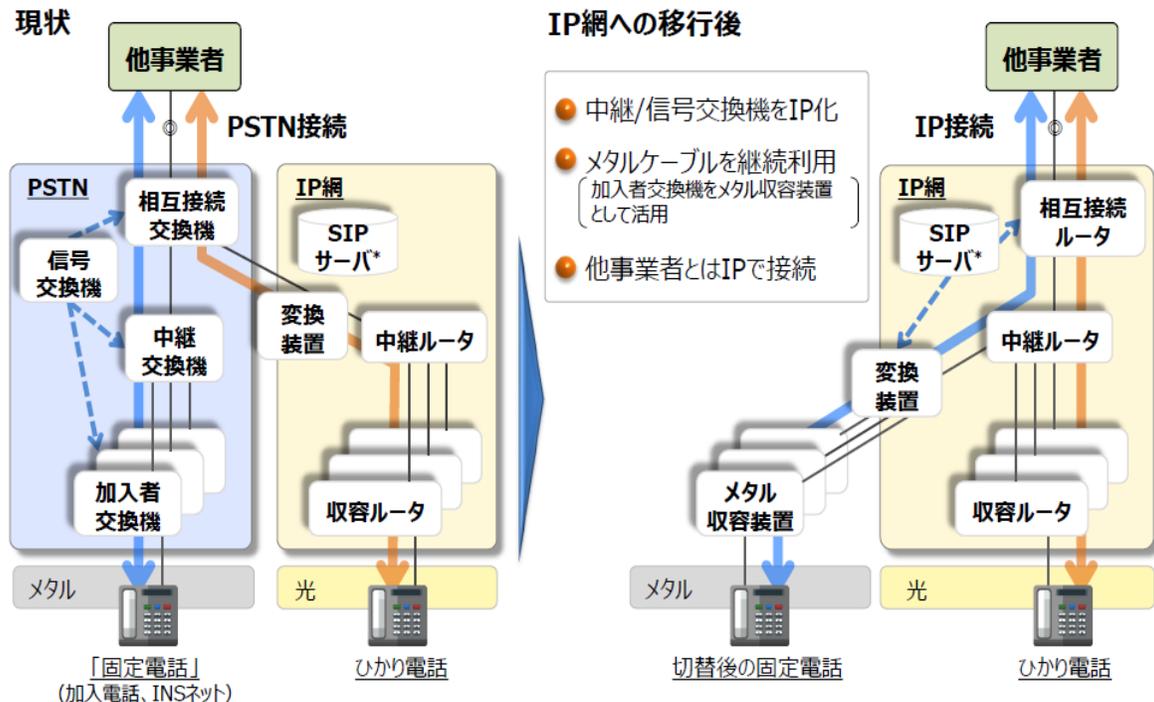


<オフコン> NEC・富士通が生産中止  
<Windows7、2008、2008R2>は 2020年1月延長サポート終了  
1980年に28歳だった社員は、定年退職へ



# 卸・メーカーの現状と課題 ④通信機器の限界

(参考) PSTNからIP網への移行



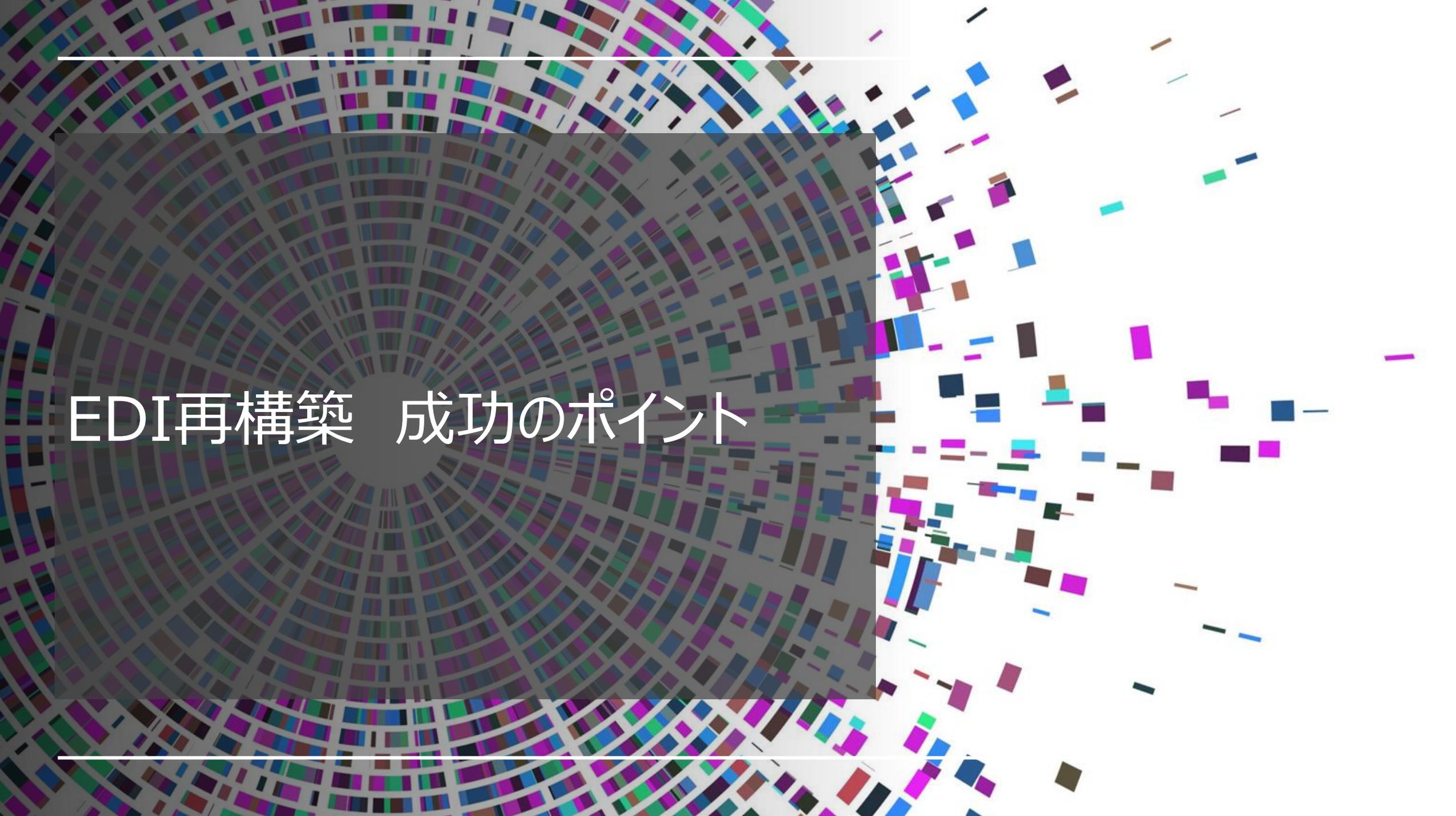
\* IP網における電話サービスの管理・制御を行なうサーバ (SIP: Session Initiation Protocol)

## 「2024年問題」

2024年にISDNデジタル通信モード終了、  
2025年にIP網へ完全移行

### JCA手順利用 小売の3つの選択

方法	小売側構築コスト	小売側ホスト変更	
流通BMS	高い (通信+ファイル)	× 多い	大手
WebEDI	△ (Webサイト)	○ 少ない	中小
流通BMS手順 + JCAファイル	△ (通信のみ)	○ 少ない	中小



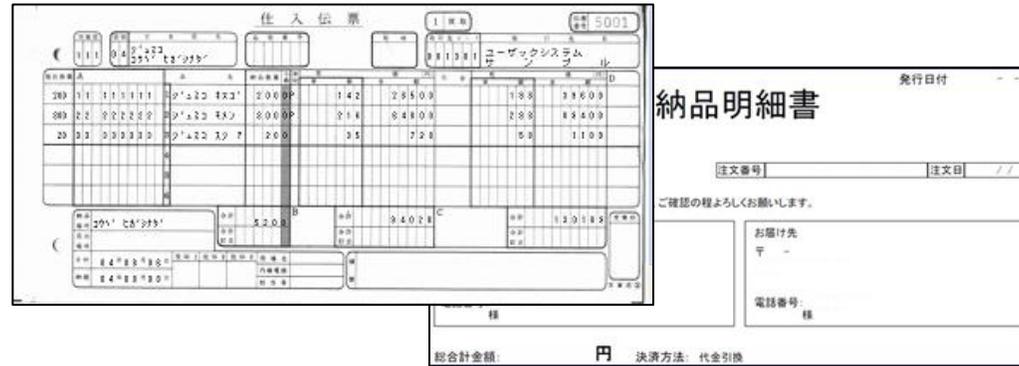
# EDI再構築 成功のポイント

# 再構築成功のポイント ①資産の棚卸と整理

①小売業が発行する、  
オンライン仕様書



②納品に必要な指定帳票など、  
帳票印字サンプル



③プログラム開発時に  
作成するプログラム仕様書



④小売別EDI・帳票一覧表

得意先名	手続	発注	発注集計	出荷	出荷紐有	受領	返品・値引	請求	支払	値札	会社	仕様書 有無確認	実データ 入手確認	ピッキング リスト	オンライン 伝票	社内 伝票	納入明細書	検品 Of	ラベル	個別更新	支払明細	請求支払 照合	
イオン	JX	発注	-	出荷	-	受領	-	請求	支払	値札	6	○	○	店別品番別 累積	レス	TA1型	イオン 納入明細書	-	PDイオン	荷番	データリスト 郵送もあり	○	
イトーヨーカ堂	JX	発注	-	-	出荷紐有	受領	-	WEB 請求	WEB 支払	-	5	○	○	品番別店別	レス	-	(荷個数表)	○	SCM	-	ブラウザ から発行	○	
イズミ	JX	発注	-	出荷	-	受領	返品	請求	支払	値札	7	○	○	品番別店別	TA2型	-	納入明細書	-	PDイズミ	荷番	-	○	
イズミヤ	JX	発注	-	-	出荷紐有	受領	-	-	支払	値札	5	○	×	品番別店別	BMS個別	-	(荷個数表)	○	SCM	-	-	-	○
オリンピック	JX	発注	-	出荷	-	受領	返品	FD 請求	-	-	5	○	×	品番別店別	BMS個別	-	-	-	-	-	-	-	-
西友	JX	発注	発注集計	-	出荷紐有	受領	-	-	支払	値札	6	○	○	品番別店別	レス	-	(荷個数表)	○	SCM	-	メール	-	○
ダイエー	JX	発注	-	出荷	-	受領	-	請求	支払	-	5	○	×	(品番別店別)	(ブラウザ)	-	納入明細書	-	PDダイエー	荷番	郵送なし	-	○
平和堂	JX	発注	-	-	出荷紐有	受領	-	請求	支払	値札	6	○	×	品番別店別	BMS個別	-	(納入明細書) ※ラベル発行	○	SCM	-	ブラウザ から発行	-	○
ユニー	JX	発注	-	-	出荷紐有	受領	-	-	支払	-	4	○	○	品番別店別	レス	-	(荷個数表)	○	SCM	-	郵送	-	○
ヨークベニマル	JX	発注	-	-	出荷紐有	受領	-	-	支払	-	4	×	○	品番別店別	レス	-	(荷個数表)	○	SCM	-	データリスト	-	○
サンリブ・マルショク	JCA	発注	-	-	-	-	値引	-	-	(値札)	2	○	○	品番別店別	TA2型	-	エクセル	-	PDサンリブ PDマルショク	荷番	-	-	-
田原屋	JCA	発注	-	出荷	-	-	-	-	支払	-	3	○	○	品番別店別	レス	TA2型	納入明細書	-	PD田原屋	荷番	データリスト	-	○
天満屋	JCA	発注	-	-	-	-	-	-	-	-	1	○	○	品番別店別	TA1型	-	-	-	-	-	-	-	-
東武ストア	JCA	発注	-	出荷	-	-	-	-	-	-	2	○	○	品番別店別	レス	TA2型	新納納入明細書 干渉窓口検品表 (手書き)	-	PD東武ストア	荷番	-	-	-

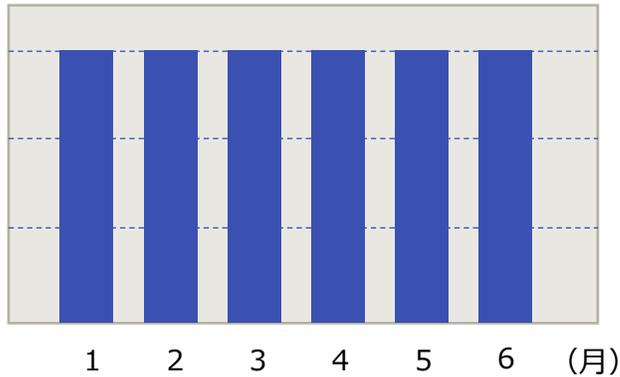
# 再構築成功のポイント ②長期スケジュール

例) 再構築対象社の180メッセージを6か月と18か月で開発した場合のイメージ

**A : 開発期間6ヶ月**

(メッセージ数)

30



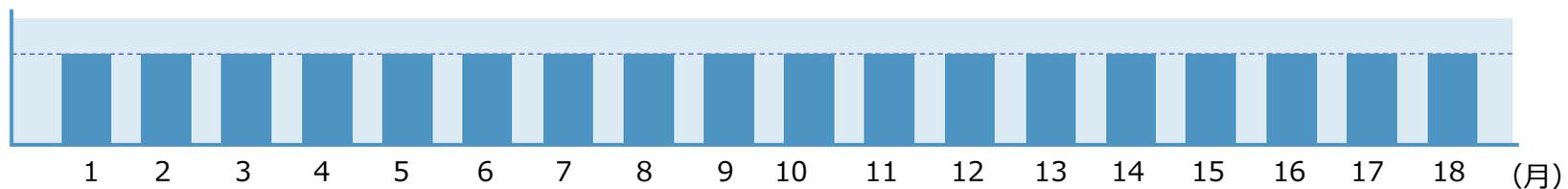
➤ 1ヶ月あたり30メッセージの開発となり、かなりの負荷がかかる

**B : 開発期間18ヶ月**

➤ 1ヶ月あたり10メッセージは開発に余裕。長期スケジュールのメリット

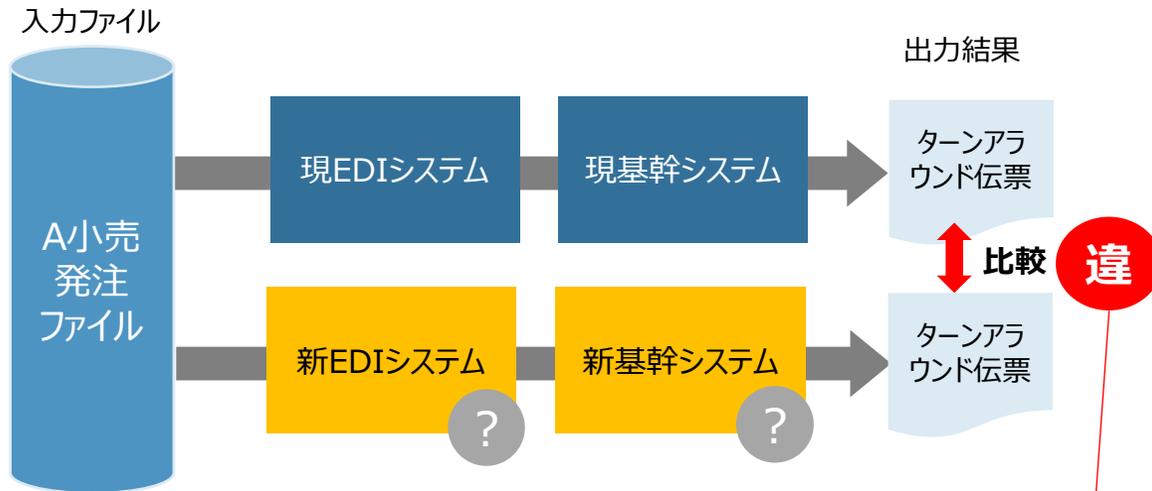
(メッセージ数)

10



# 再構築成功のポイント ③新基幹システム導入前から再構築着手

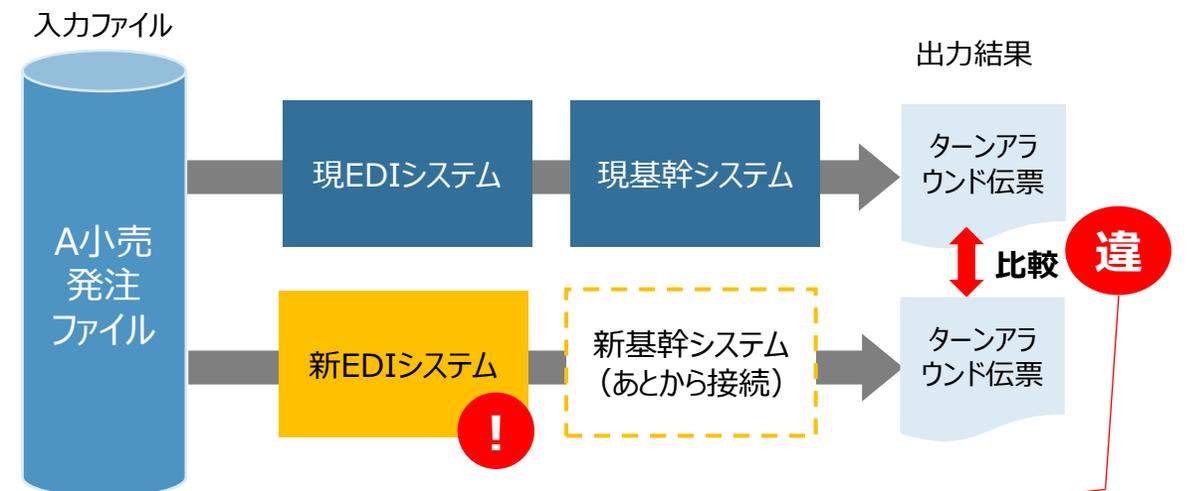
## 基幹システムと同時に切り替える悪い例



? 出力結果に相違がみられたが...

基幹システムと同時にEDI再構築を進めると、新EDIシステムがおかしいのか、新基幹システムがおかしいのか、判断がつかない。

## 先行してEDIを再構築する良い例



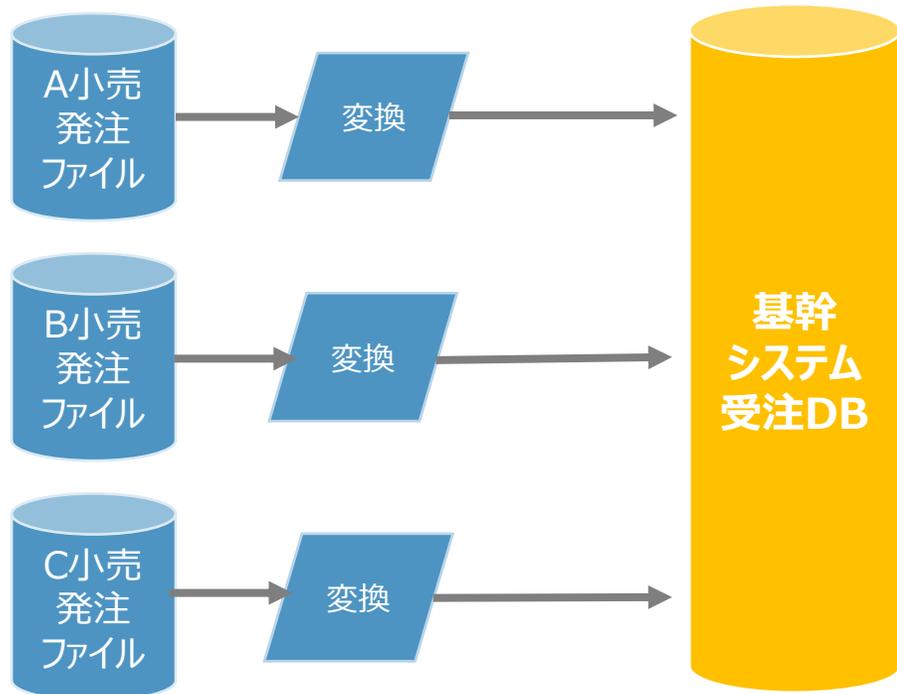
! 出力結果の相違は新EDIシステムがおかしいと判断がつく。

相違がなくなったら、新基幹システムを接続する。

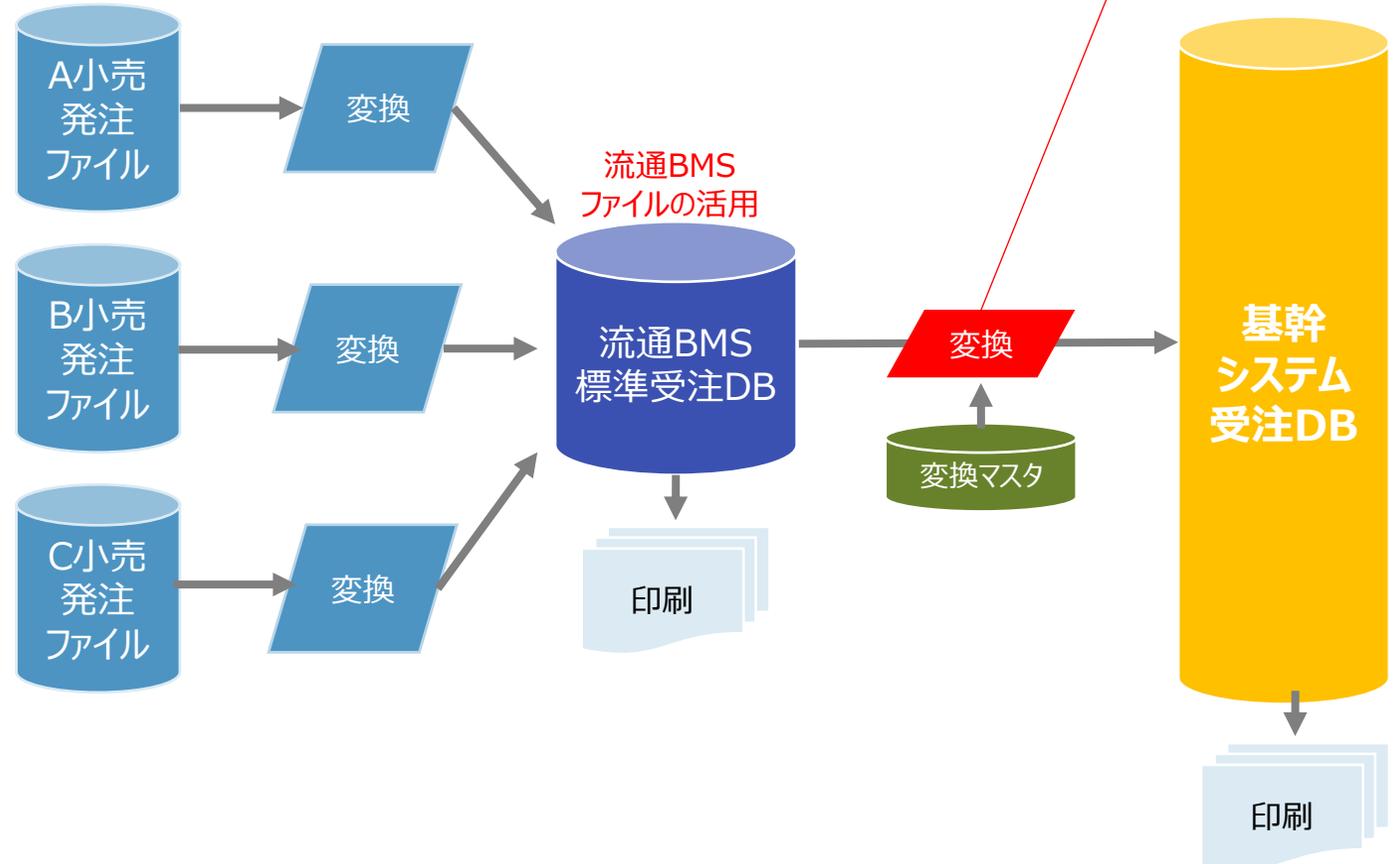
# 再構築成功のポイント ④ 業界標準ファイルを中間ファイルに

悪い例

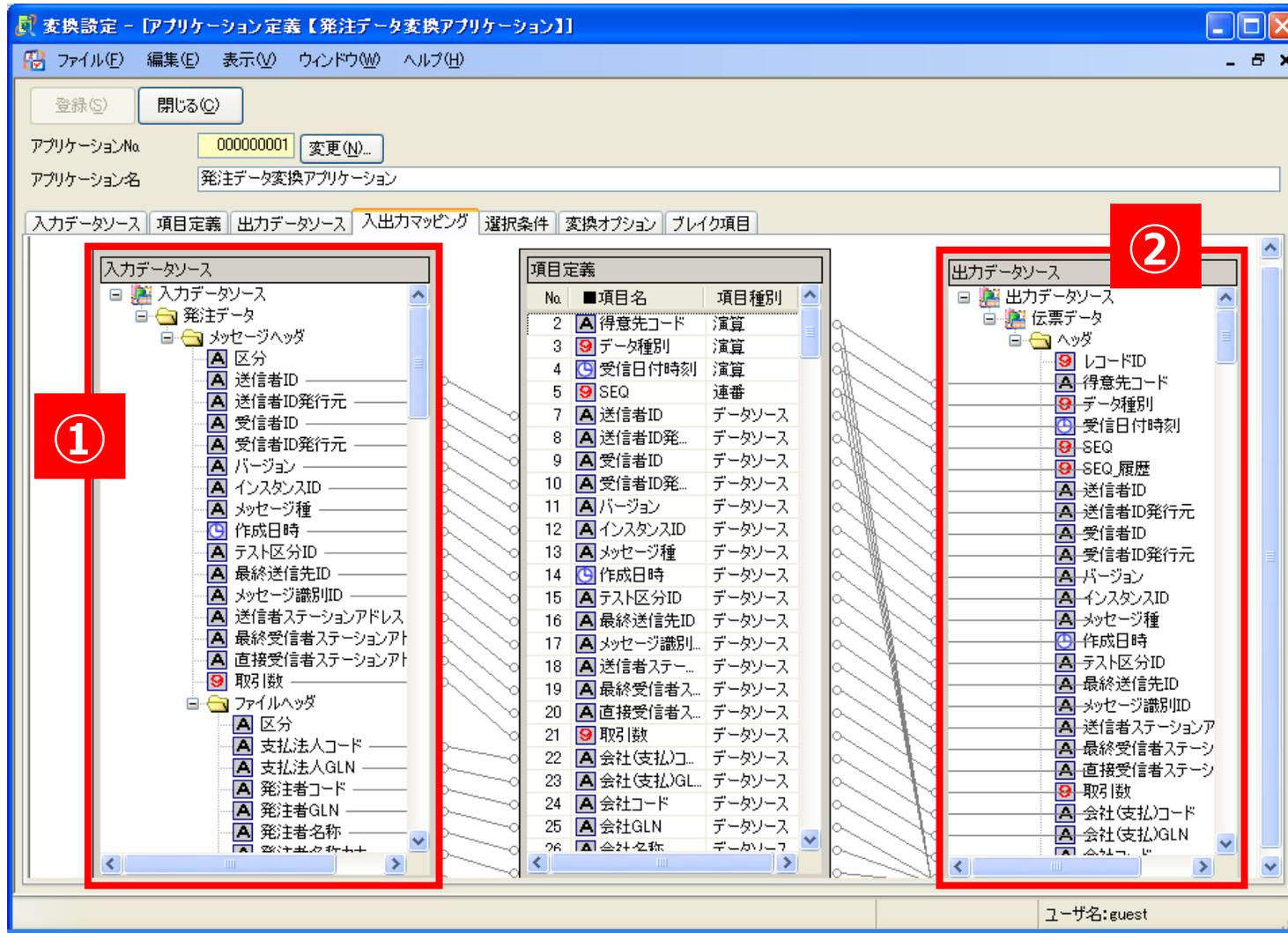
各小売発注ファイルから基幹システムへ直接接続



良い例



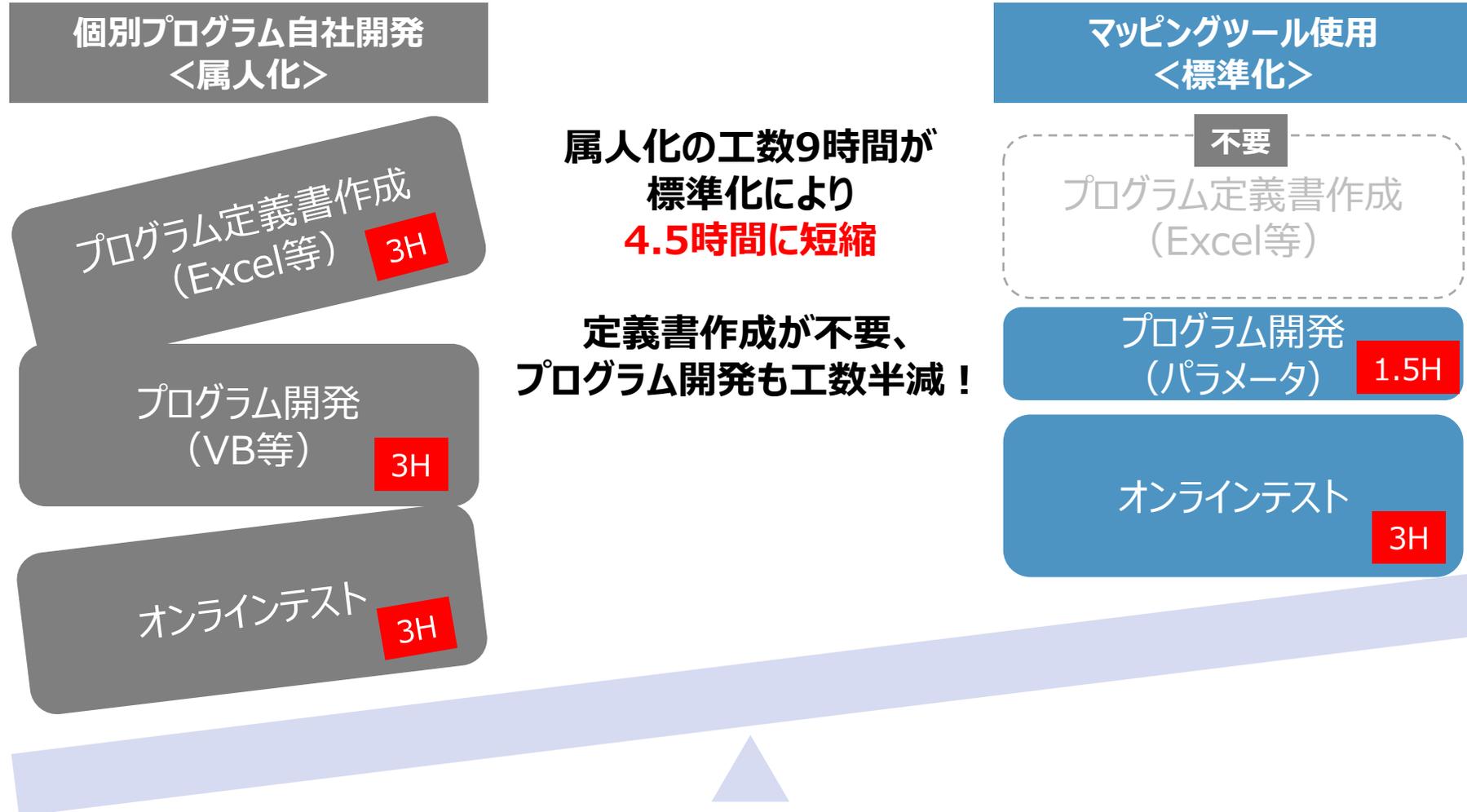
# 再構築成功のポイント ⑤ ツールを活用する (マッピングツール)



- ① 取引先の注文データのレイアウトの項目を登録
- ② 流通BMSに準拠した中間ファイルの項目と紐付け(マッピング)することで、データ連携のし組みが簡単に構築できます

# 再構築成功のポイント ⑤ ツールを活用する (マッピングツール)

変換PRG開発工数削減イメージ (JCA手順1メッセージ新規開発の場合)

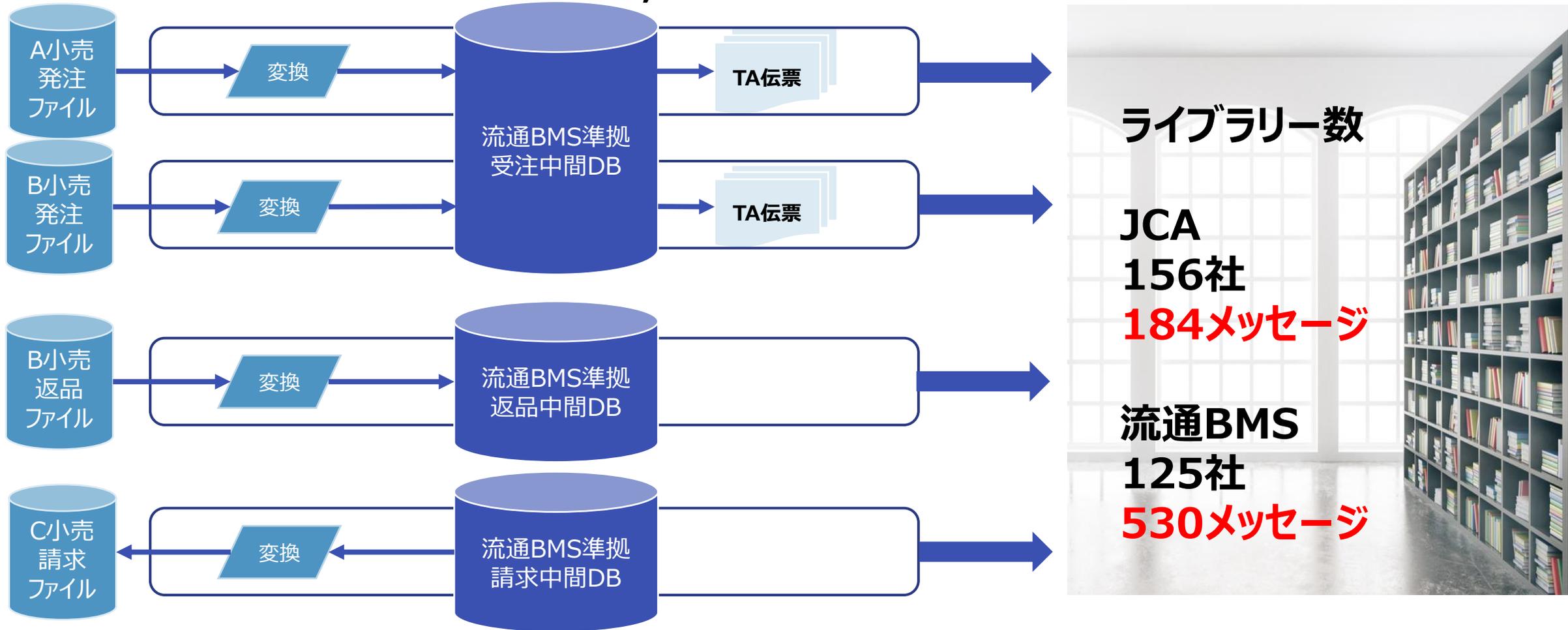


# 再構築成功のポイント ⑤ツールを活用する（帳票作成ツール）

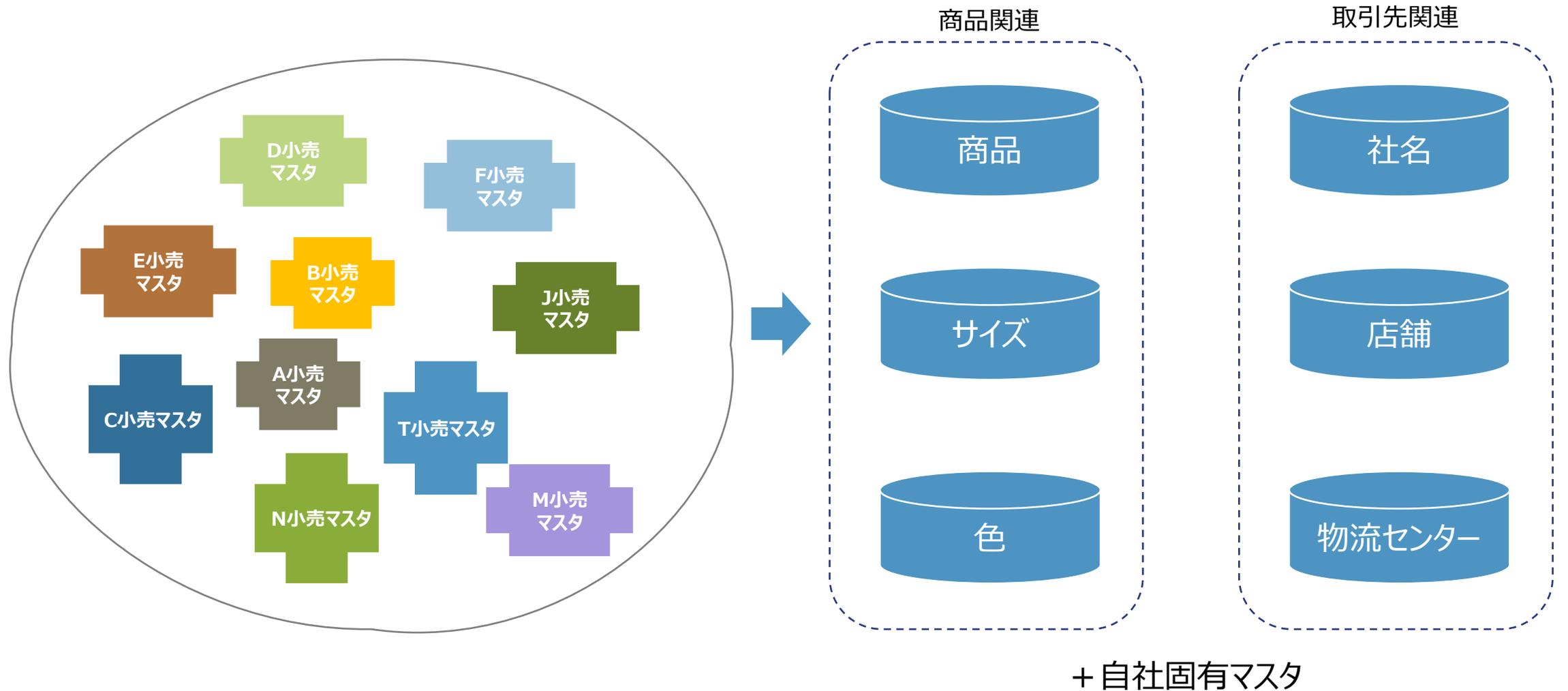


# 再構築成功のポイント ⑥ライブラリーの活用（EOS名人オリジナル）

**EOS名人.NET**：中間ファイルへの変換ルールは標準化され、ドキュメントも提供  
累計出荷本数 2,360本（2021年6月現在）

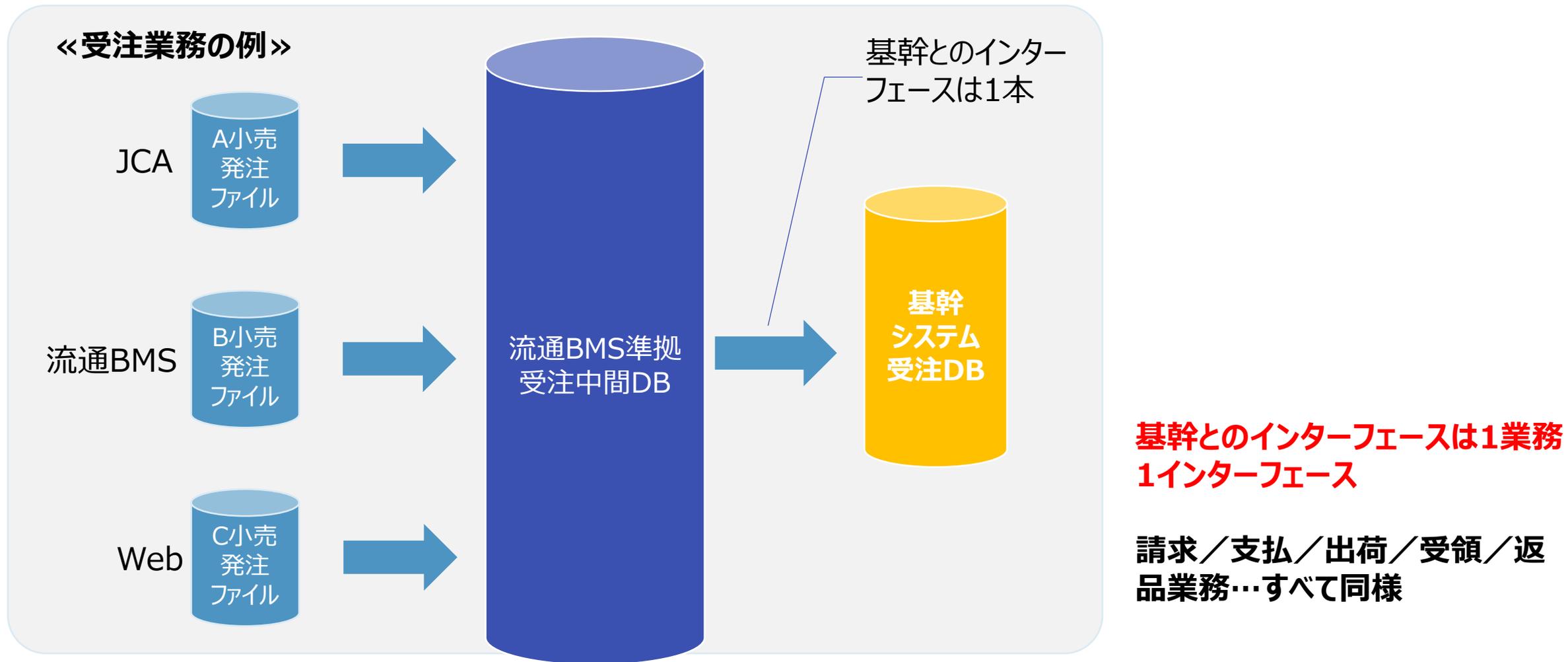


# 再構築成功のポイント ⑦ マスタの標準化



# 再構築成功のポイント ⑧レガシーと新たなEDIの統合

## 通信手段に関係なく、業務が同じであればまとめる



# 再構築成功のポイント ⑨構築コストについて

---

## 【1】TCO (Total Cost of Ownership) 「総保有コスト」での評価

- ① ハード・OS・ミドルウェア月額リース費用
- ② ハードウェア保守料
- ③ システム管理月額費用（自社開発の場合）
- ④ VAN利用料（変換サービスを行っている場合）
- ⑤ ホスティング費用（汎用機の場合莫大）

## 【2】EDI以外に取引先の要請から派生するシステムの工数分析

意外と多い取引先要請から発生するシステム

- ① 各業務間での手作業（二重入力）工数
- ② 伝票・各種要請帳票の作成工数
- ③ PDラベル／SCMラベル／店名ラベル作成時の無駄な工数
- ④ WebEDIの手作業の工数

## 【3】長期スケジュールによる費用分散シミュレーション

開発要員不足解消と複数年度での予算

# まとめ

---



計画

まずは資産の棚卸

設計

基幹システムの前に  
業界標準の中間DBを

計画

長期スケジュールが  
とにかく重要

設計

中間DBでさまざまな  
通信手順も統合

計画

基幹システム更新と同時に  
EDIシステム再構築は危険

設計

最新ツール、ライブラリー  
を最大限活用

---

# Thank you !

ご清聴ありがとうございました。

システム再構築のご相談、EOS名人についてのご質問などどうぞお気軽に！

オンライン相談≫<https://www.usknet.com/remote/>

EOS名人資料請求≫<https://info.usknet.com/l/916621/2021-03-09/j97>

オンライン相談では、貴社のEDI状況をお伺いし、事例やEOS名人のデモをご紹介します。

---